

# S I D R

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

《週報》

第4巻第25号

第25週(6月14日~6月20日)

発行年月日:平成16年(2004年)6月25日

発行:滋賀県立衛生環境センター内

滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1)全数報告の感染症(1類~5類)

感染症類型	疾患名	報告数 (25週)	累積報告数		平成15年報告数	
			滋賀 (25週)	全国 (25週)	滋賀	全国 <sup>(*)</sup>
1類感染症	報告なし	0	0	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	5	210	7	459
	腸チフス	0	1	30	0	60
	パラチフス	0	0	35	0	38
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	4	733	8	2635
4類感染症	E型肝炎 <sup>(*)2)</sup>	0	1	9		
	オウム病	0	1	27	1	44
	ツツガムシ病	0	0	89	2	380
	レジオネラ症	0	0	56	1	143
5類感染症	アメーバ赤痢	0	4	271	3	504
	ウイルス性肝炎	0	1	140	3	634
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	75	3	115
	ジアルジア症	0	1	34	0	99
	後天性免疫不全症候群	0	3	471	8	949
	梅毒	0	2	228	2	493
	破傷風	0	1	37	1	69
	急性脳炎	0	0	32	0	98

\*1:平成15年報告数の全国報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています。

\*2: " 感染症法の改正前のためE型肝炎のみの集計はされていません。

### 2)定点把握の対象となる5類感染症

疾患名	定点当たり患者数(県・保健所管内別)								前週との比較(定点当たり患者数)
	県	大津	草津	水口	八日市	彦根	長浜	今津	
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	
RSウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
咽頭結膜熱	1.24	5.14	0.50	0	0.20	0.25	0	0	
A群溶連菌咽頭炎	0.91	0	1.00	1.50	2.00	0.50	0.20	2.50	
感染性胃腸炎	2.91	5.00	6.17	0	0	0.50	0	11.00	
水痘	1.52	0.86	2.00	0.50	1.80	2.00	2.20	1.00	
手足口病	0.27	0.29	0.17	0	0.20	0	0	2.50	
伝染性紅斑	0.15	0	0.17	0.50	0	0.25	0	0.50	
突発性発疹	0.88	1.29	1.67	0.50	0.60	0.75	0.20	0.50	
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	0	
風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	2.24	4.43	3.50	0.25	1.00	0.50	0.80	5.00	
麻しん	0.03	0	0	0	0	0.25	0	0	
流行性耳下腺炎	0.79	1.00	0.67	0.25	0.60	2.00	0.60	0	
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性角結膜炎	0.43	0	0	2.00	1.00	0	0	0	
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
無菌性髄膜炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
マイコプラズマ肺炎	0.14	0	0	0	0	0	1.00	0	
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	
成人麻しん	0	0	0	0	0	0	0	0	

全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>)において公表されています。

0 2 4 6  
定点当たり患者数

### 3) 今週のトピックス

#### 咽頭結膜熱、感染性胃腸炎、手足口病の発生に地域的な偏り ヘルパンギーナの発生は増加傾向

定点把握の対象となる5類感染症の発生状況は、先週(6月7日～6月13日)の報告数とほぼ同じで大きな変化はみられません。咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナ、流行性角結膜炎等の発生は先週より増加しており、感染性胃腸炎、流行性耳下腺炎、マイコプラズマ肺炎等の発生は減少しています。

**咽頭結膜熱**については、定点当たり患者数が1.24となり先週とほぼ同じですが、**大津保健所管内**においては先週に引き続き多く5.14となっています。また、草津、八日市および彦根保健所管内からも報告されています。全国においても、過去10年間で最も多い報告数となっていますので今後の発生動向に注意する必要があります。

##### < 咽頭結膜熱のミニ知識 >

- ・プールで感染することもあるので、**プール熱**とも呼ばれています。
- ・感染経路は飛沫感染ですが、**プールでは結膜からの感染や経口的な感染もあります。**
- ・病原体はアデノウイルスです。
- ・症状は発熱、頭痛、食欲不振、全身倦怠感、咽頭痛、結膜充血、眼脂などです。  
\* **アデノウイルス7型**による場合は、肺炎などの重篤な症状となることもあります。
- ・治療は対症療法(脱水症状を防ぐなど)が中心です。
- ・**予防**としては患者のタオルなどを共用しない、うがいや手指の消毒、水泳前後のシャワー、プールの水の消毒などが大切です。

**感染性胃腸炎**については、定点当たり患者数は減少傾向を示し2.91となっていますが、**今津保健所管内**においては23週 19.00、24週 10.00、25週 11.00と多くなっています。

**手足口病**については、昨年同時期の定点当たり患者数0.97よりかなり少なく0.27となっていますが、**今津保健所管内**においては2.50と多くなっています。

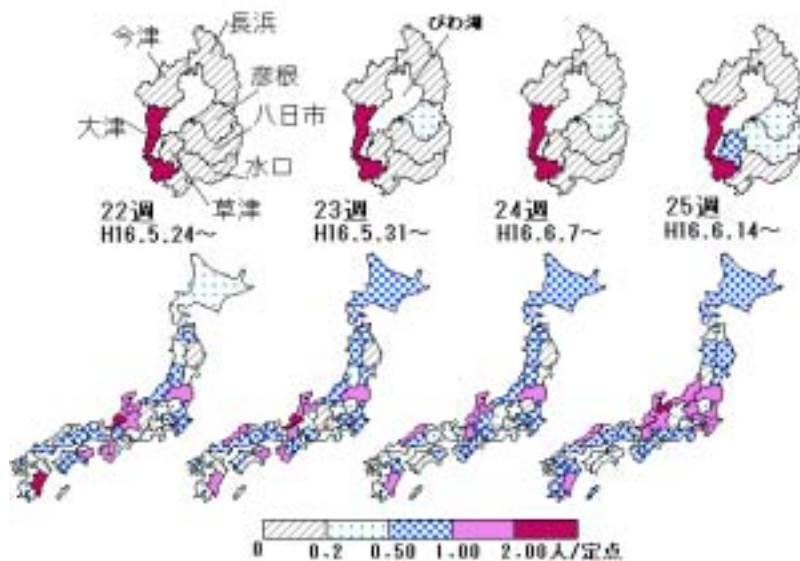
**ヘルパンギーナ**については、増加傾向を示していますが昨年の同時期の定点当たり患者数とほぼ同じ2.24となっており、各保健所管内から報告されています。

##### 定点当たり患者数:

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、一週間を単位として一つの定点から何人の患者が報告されているかを示したものです(患者報告数/定点医療機関数)。  
例えば、一つの疾患(インフルエンザ等)について、一週間に53カ所の定点から総数53人の報告があれば、定点当たり患者数は1.00となります。

\* 疾患により定点数は異なります。

#### 咽頭結膜熱の週別発生状況(平成16年第22週～第25週、H16.5.24～H16.6.20)

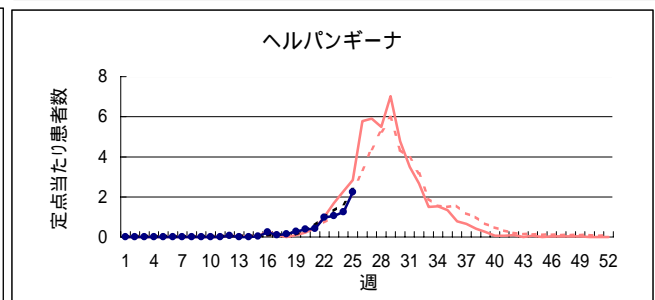
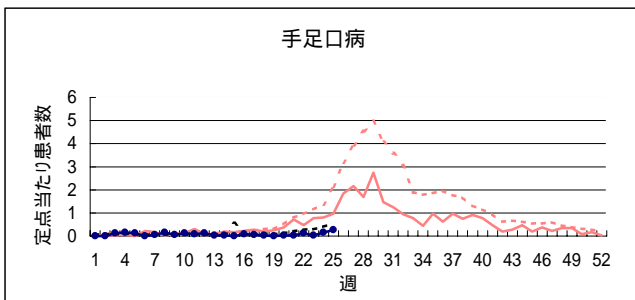
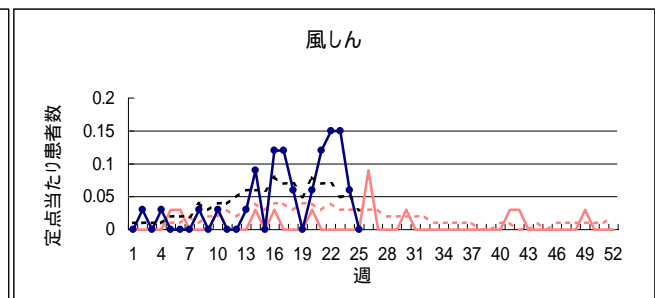
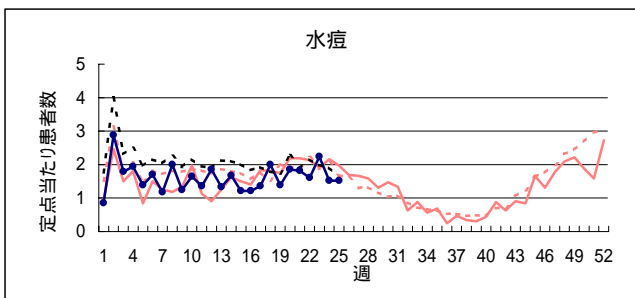
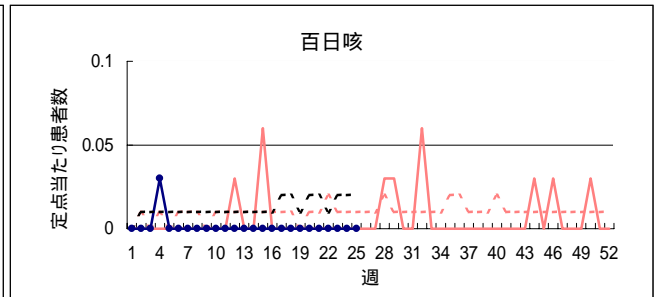
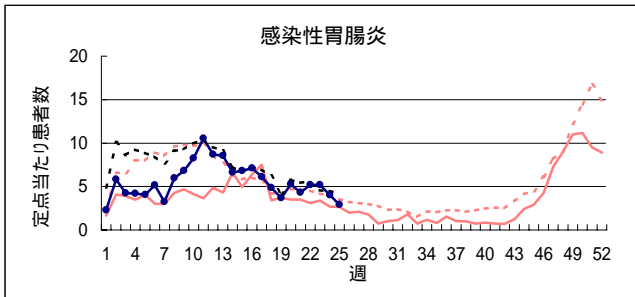
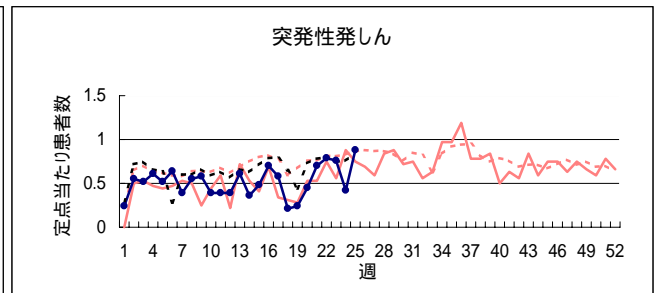
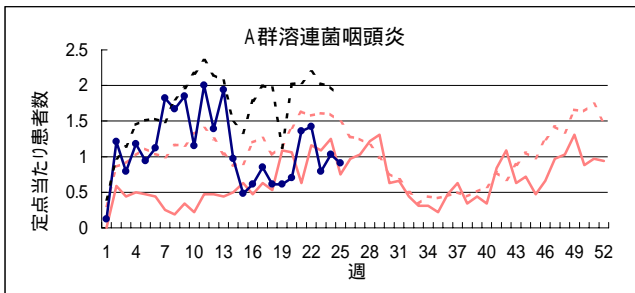
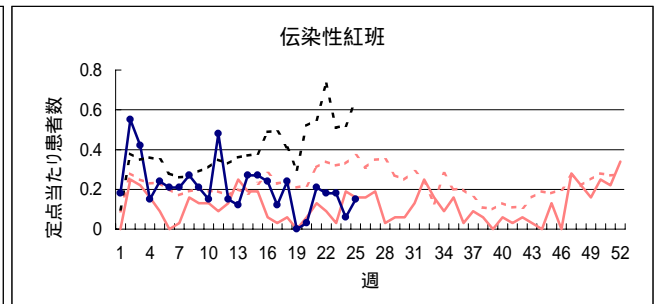
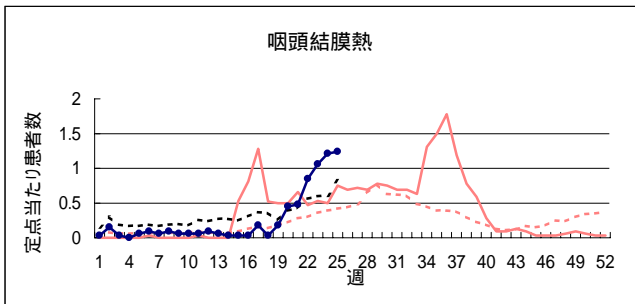
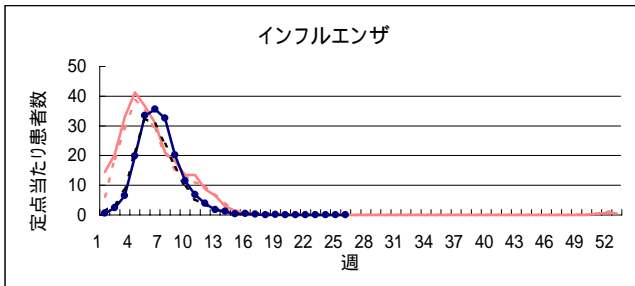


滋賀県の第22～25週の発生状況についてみると、大津保健所管内の定点当たり患者数は4.00～5.57で推移しており発生に偏りがみられます。

第25週については、草津、八日市および彦根保健所管内においても発生が見られます。

また、全国の第25週の定点当たり患者数についてみると、富山県 2.10、宮崎県 1.83、鳥根県 1.65、石川県 1.59、新潟県 1.48、福井県 1.41となっています。

# 疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第25週、H15.12.29～H16.6.20)



# 疾病別定点当たり患者数(平成16年第1週～第25週、H15.12.29～H16.6.20)

H15 [ 滋賀 ———— 全国 ..... ]      H16 [ 滋賀 ●——● 全国 ..... ]

